第20回 天文文化研究会
The 20th Workshop on Cultural Astronomy

2020年12月5日（土）10時スタート，17時30分頃終了
@大阪工業大学梅田キャンパス　または　オンライン参加形式

（2020-1204版　参加者版）

本研究会のページ
http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/20201205/index.html

会場参加の方へ

★ 会場は，大阪工業大学梅田キャンパス（大阪市北区茶屋町１番45号，5ページに地図あり）です．**12階セミナー室１**です．
http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html

★ 氏名を１階エレベータ前の守衛室に届けてありますので，「天文文化研究会参加」としてカードキーを受け取ってお進みください．守衛室前で検温も必要です．

★ １階には，コンビニエンスストアもあります．

★ 昼食は，21階にレストランもありますが，ご持参されることをお勧めします．

★ 夕方の情報交換会にご参加の方は，お弁当代 3700円を現金でご用意ください．その他の方は，コーヒー・紅茶代 200円をお願いいたします．

オンライン参加の方へ

Zoomを用いて双方向の通信をします．アクセス先は
https://us02web.zoom.us/j/84309729361
です．アクセス時，パスコードが要求されます．
メールにてご案内したものを打ち込んでください．

slackの開設

★ 資料の共有などではSlackを用います．
ウェブブラウザ（Safari, Google Chrome, MS Edge, Firefoxなど）上で無料で使えますが，PC用のアプリケーション Zoom, Slack をインストールした方が，使い勝手がよいです．

★ Slackのアクセス先は，前回9月の研究会と同じです．12月3日に招待状をメールで送信しておりますので，そこからアクセスしてください．slackの中の『#研究会20201205』というchannelを主に用います．それ以外のところもご覧いただいたり，書き込んでいただいて結構です．

第20回天文文化研究会プログラム　　2020年12月5日（土）
　　会場　大阪工業大学梅田キャンパス

10:00　ご挨拶　松浦清
10:10**【招待講演】玉澤 春史（京都大学）**
　　Harufumi Tamazawa (Kyoto Univ.)
　　天変地異の記録を用いた歴史科学技術社会論試論
　　概要：過去の天変地異の記録は，天文気象現象に遭遇した人々が その時々の理解のうえで何とか理解・説明しようとしてきた試み である．同じ現象でも違った表現，そして行動をするのは， 当時の自然現象への認識の理解が社会階層でどのように 違っていたかを反映する可能性も持つ． 本報告では，これまで報告者が研究に用いる観測記録として 扱ってきた過去の天体現象の記録から，複数地点で 観測記録がある事象を取り上げ，記述の差異を見ながら 自然認識と社会との関係が考察できるか試みる．

昼休み前　出席者自己紹介（お一人90秒程度）前半
　　Self-introductions of participants (within 90 seconds per person)
昼休み　　Lunch Break

13:00**【Invited talk】안상현 Sang-Hyeon Ahn（Korea Astronomy and Space Science Institute）**
　　The instruments developed during the reign period of King Sejong the great and its applications
　　概要：I introduce my recent researches on "the instruments developed during the reign period of King Sejong the great and its applications" to measure the positions of Mars in 1491. During the period of King Sejong (early half of the 15th century) there were developed 16 instruments including the positional astronomy, precise astronomical clocks, water clocks, sundials... Among them the small simplified armilla had been used by the court astronomers during the early half period of the Joseon dynasty. There is one good example of its use for measuring the equat. positions of Mars during his retrograde motions around 1491 CE. I analyzed them to verify the geomagnetic fields of that time.

休憩前　出席者自己紹介（お一人90秒程度）後半
　　Self-introductions of participants (within 90 seconds per person)
休憩　Coffee Break

15:00　ショートトーク　or　ディスカッション　or　連絡事項
　　岩橋清美（国文学研究資料館） Kiyomi Iwahashi
　　オーロラと近世社会 -- オーロラをめぐる人々の意識と記録のあり方 --（30分，会場）
　　北井礼三郎（立命館大学） Reizaburo Kitai
　　明治4年12月のオーロライベントの飛騨高山での記録 （20分, remote）
　　陶山徹（長野市立博物館） Toru Suyama
　　長野県天文文化研究会の活動～長野県は宇宙県～　（15分, remote）
　　吉田薫（東亜天文学会） Kaoru Yoshida
　　調査報告「堺・正覚寺　須弥象碑、須弥山儀について」（10分, 会場）

17:30　終了　情報交換会へ

参加者名簿

参加登録者の方々（敬称略，五十音順）12月4日現在（D情報交換会も参加）

**** 会場参加 ****
井溪 明 D
井村 誠 D
岩崎 清美
神羽 麻紀
真貝 寿明 D
玉澤 春史 D
鳥居 隆 D
松浦 清 D
三浦 泰保 D
横山 恵理 D
吉田 薫 D
米田 達郎

**** オンライン参加 ****
Ahn, Sang Hyeon
石田 淳
今谷 拓郎
宇代 貴文
梅田 千尋
北井 礼三郎
小林 道生
作花 一志
陶山 凪
田島 由起子
髙橋あやの
千本 英史

塚本 達也
永原 順子
中村 晶子
丹羽 愛一郎
藤原 康徳
松尾 厚
松岡 義一
望月 優子
和田 浩一

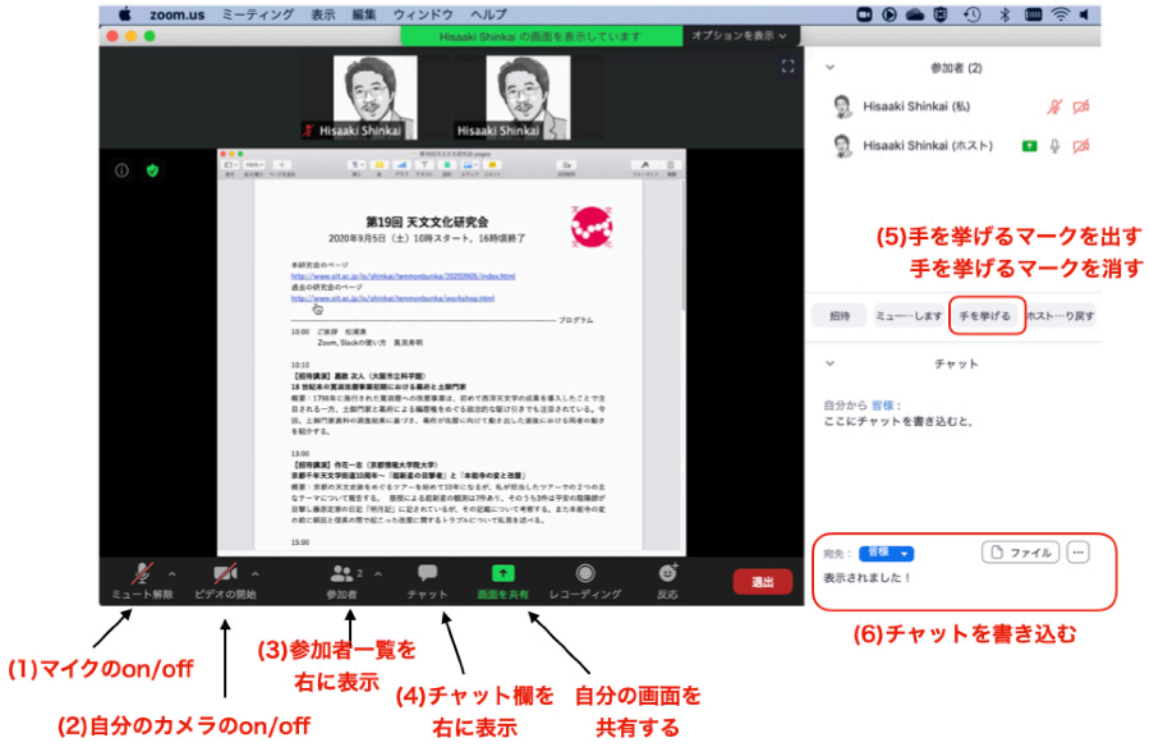
謝辞

本研究会は，科学研究助成費・挑戦的研究(萌芽)19K21621『天文文化学の創設：天文と文化遺産を結ぶ文理融合研究の加速』の助成を受けて開催しております．これまでの研究会の記録は
http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/workshop.html
にてご覧いただけます．

ご案内

情報交換用にメーリングリストを作っております．
tenmon-bunka_AT_googlegroups.com
会員間の情報共有，本研究会のご案内などに利用しております．登録ご希望の方は，
真貝(hisaaki.shinkai_AT_oit.ac.jp)または横山(eri.yokoyama_AT_oit.ac.jp)までお知らせください．

Zoomの画面　(Macintoshの場合)



Slack の画面　(Macintoshの場合)

大阪工業大学　梅田キャンパス　（OIT梅田タワー）へのアクセス

http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html

所在地：大阪市北区茶屋町1番45号

- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- 阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分
- 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分
- 【地下街からのアクセス（地下街直結）】
  ホワイティうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビルH-2方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。（JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。）

★入構時は，守衛室にて「天文文化研究会参加」としてご氏名をいただければ，入構に必要なカード・キーが渡されるようにしておきます。体温計測があります。
★会場は12階セミナー室１　です.